

思春期の地雷をかけ抜けて 目覚めよ 僕らの恋心



普通の高校生スティーヴンが好きになったのは、陸上部のヒーローだった！  
 一歩踏みだす勇気があれば 世界は眩しい 16歳の“スクールボーイ白書”

# 同級生

1998年エジンバラ映画祭“観客賞” 1998年ディナール英国映画祭“審査員賞”“観客賞”  
 1998年トロント国際映画祭正式出品 1999年サンダンス・フィルム・フェスティバル正式出品

DISANT HORIZON PRESENTS A GRAPHITE FILM WITH THE PARTICIPATION OF BRITISH SCREEN AND THE ARTS COUNCIL OF ENGLAND "GET REAL" BEN SILVERSTONE BRAD GORTON CHARLOTTE BRITAIN CASTING DIRECTOR DI CARLING  
 PRODUCTION AND COSTUME DESIGNER BERND LEPEL DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY ALAN ALMOND EDITOR BARRIE VINCE ORIGINAL MUSIC JOHN LUNN SCREENPLAY PATRICK WILDE BASED ON HIS PLAY "WHAT'S WRONG WITH ANGRY?" CO-PRODUCER PATRICIA CARR  
 EXECUTIVE PRODUCERS ANANT SINGH AND HELENA SPRING PRODUCED BY STEPHEN TAYLOR DIRECTED BY SIMON SHORE ©1998, GRAPHITE FILMS (GET REAL LTD. AND DISTANT HORIZON LTD. ALL RIGHTS RESERVED.)  
 サイモン・ショア 第一回監督作品／原戯曲・脚本：パトリック・ワイルド／出演：ベン・シルヴァーストン／ブラッド・ゴートン／シャーロット・プリテン  
 1998年イギリス／ディスタント・ホライズン提供／グラフィット・フィルム作品／提供：アスミック・エース エンタテインメント、日活／配給：アスミック・エース

getreal



# 「素直に好きだと言えないのは、 自分に嘘をついてることじゃないか？」



リアリティ・バイツ      ゲット・リアル  
**現実の厳しさを知って、現実を見つめる、そして僕は矛盾だらけの世界に挑む**

普通の高校生スティヴンが好きになったのは、陸上部のヒーロー、ジョン。校庭を走る彼に最初は片思いだったが、次第に二人は魅かれあっていく。求めて、悩んで、傷ついて、一步、踏み出す勇気があれば…。しかし「誰にも言えない恋」という現実が、二人の気持ちにズレを生む…。

イギリスから届いたキラメクような美しい映像と、誰にも告げられない愛を抱え、ブルーな制服に包まれたティーンたちが、多感でリアルな青春時代へと観る者を「タイムスリップ」させてくれる。

## イギリスの現役高校生とのコラボレーションから生まれた、爽やかな“スクールボーイ白書”!

本作は、ゲイの若者の恋愛を鋭く描いて話題となり、世界各地の映画祭で観客の心と賞をつかみ、“斬新で、おかしく、魅力あふれ、まさにティーン・エイジの不安を描いたジョン・ヒューズの青春映画のイギリス版!<バラエティ誌>”、“感動まちがいなしの、やさしく心温まる、楽しい作品!<タイムズ誌>”、と各誌で大絶賛を浴びた。

公衆トイレでの相手探し、制服を着た未成年の秘密、卒業式でのカミングアウト……。サイモン・ショアは、本作で映画監督デビューを鮮烈に果たした。また、『ロリータ』のベン・シルヴァーストン、本作が映画初出演となるブラッド・ゴートンという二人の美少年と、『恋はハックョイ!』で堂々と主役を演じたシャーロット・ブリテンといった新進の若手俳優の絶妙な演技、爽やかなイギリスポップミュージック満載、ティーンエイジャーたちの自由で眩しい物語が誕生した!

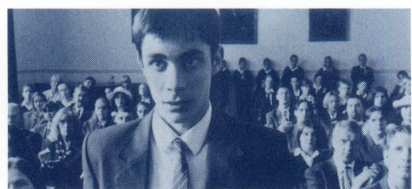


守りたい、穢したくない大切な想いがある。思春期の僕達はだからたった一人、不器用な戦いを始める。

### 嶽本野ばら (作家)

何時からでしょうか、ままたぬことは沢山あれど、ある程度現実をコントロール出来るようになったのは、時折悶々とし臍癪を起こせども、大抵の場合は世界と折り合いをつけて、自己回答することも忘れ、所詮、こんなものだ最初から諦めて、日々を安楽に過ごす術を習得し始めたのは——。今なら好きになった相手に対して好きだと伝えることが出来ます。その恋が実現し解ったならば、苦悶しながらも忘れ去る狡賢さを、他の恋で代用し淋しさを紛らわせる柔軟性を持っています。しかしかつて僕は恐ろしくストイックでした。ストイックであろうとした訳ではありません。ストイックに生きるしか方法を知らなかったのです。好きになってしまったならば、その人が自分に見合うか見合わないか、相手がこちらを振り向いてくれる可能性があるかないかを考えもせず、感情を昂ぶらせてしまうのです。その気持ちを上手く相手に届ける手段も知らず、只、やみくもに想い続けるのです。コミュニケーションを取るにはマナーや段取りが必要だなんてことを僕はほとんど知りませんでした。否、知ったとしても僕は、自分の想いを成就させる為に時間をかけて計画を遂行することをしなかったでしょう。一つの感情に支配され翻弄されている僕達には、待つ余裕がなかったからです。周りの状況を見て冷静な判断を下すキャパシティのない僕達に、少し先の未来を意識する遊びを持つことの有効性など理解出来るう筈がありません。僕は現在を必死に、何のレトリックも用いずに生きるしかありませんでした。真正面から正攻法で武器も防具も持たず立ち向かう僕達に、世界は残酷な現実を突きつけます。慣例がない、早過ぎる、非社会的だ、リアリティがない……という理由をもって世界は、一途な僕達の行く先を阻みます。世界が提示する理由は、僕達が想いを断念する

のに納得出来るものではありませんでした。僕は世界の横暴さに驚き、抵抗します。しかし不完全な僕は世界のガードを打ち破る力もテクニックも持ち合わせてはいないのです。僕は自分の無力さを嘆き、自分の理解不可能なルールに乗っ取って機能する世界を呪います。そして何度も何度も世界に対して戦いを挑むのです。軽くあしらわれ足許をすくわれようが、話にならないと嘯われようが、反モラル的だとか責められようが、僕は自分の情動を正義だと信じ、負け戦を繰り返すのです。



この映画において、主人公のスティヴンはごく普通の高校生として描かれます。文才はあるものの、自分ではその文才に自信が持てない、少しオクテの高校生である彼は、多くの同級生達が何の疑問もなく楽しみにスクールライフを送る姿に追従することが出来ません。世界に対して不満がある訳ではない、けれどもすんなり受け入れてしまえる程に世界は居心地が良くはない。世界との軋轢を抱えながらも彼は、世界と闘争をするまでのモチベーションを持たぬまま、毎日をやり過ぎてきました。自分がホモセクシャルであることに対して罪の意識はなく、それを当然のこととして受け入れてはいるものの、彼が暮らすのは保守的な田舎町、級友や親に

対してそれをカミングアウトする気にはなれない。しかしそんな彼が世界に対して戦いを挑まなければならぬ時、疑問だらけの世界に対して自分のアイデンティティを賭けて対峙しなければならぬ時がやってきました。思いがけず手に入れた夢のような恋愛を蹴れたものとしない為、彼は勇気を振り絞って孤立無援な戦士となる道を選びます。

スティヴンの戦いを、ホモセクシャルであるが故の特別なものとして捉えてしまっははこの作品のテーマを見失ってしまうことでしょう。彼の戦いは、自分が一等重要にたく思っただものをないがしろにしたくないというストリートな矜持から発生するのです。思春期だからこそ、嘘をつくことも出来ずに不器用に守り抜くしかなかったかけがえのない自分の核。きっと、スティヴンのように自分のセクシャリティがマイノリティのものだったという特殊な経験を持たずとも、人は皆、自分が守らなければならないものに正直であるが為、たった一人の世界に戦いを挑まなければならないことがある筈です。その戦いの勝敗は重要ではありません。肝心なのは力一杯、戦えたかどうかなのです。たとえ負けたとしても力の限り戦い抜いた思春期を持つ人は、思春期を過ぎた後、胸を張って臆することなく世界と向かい合えるでしょう。

最初に一人で世界にノーをいう時には勇気が必要です。大きな決断と少しの後押しがなければ勇気は行動となりません。この映画は少しの後押しがない為に大きな一歩を踏み出せずにいる全ての戦士予備軍の背中を優しく押しつけてくれるでしょう。自分が誇れる自分を持ち続けたい人よ、ラストシーンで共に明るい涙を流し、明日の戦いに臨みましょう。

◆1998年エンジンバラ映画祭「観客賞」 ◆1998年ディナール英国映画祭「審査員賞」「観客賞」 ◆1998年トロント国際映画祭正式出品 ◆1999年サンダンス・フィルム・フェスティバル正式出品  
 サイモン・ショア第一回監督作品/原戯曲・脚本：パトリック・ワイルド/主演：ベン・シルヴァーストン『ロリータ』、ブラッド・ゴートン、シャーロット・ブリテン『恋はハックョイ!』  
 1998年イギリス/ディスタント・ホライズン提供/グラフィック・フィルム作品/カラー/1時間50分/ヴィスタサイズ/ドルビーSR/日本語字幕：石田泰子/提供：アズミック・エース、日活/配給：アズミック・エース

10月中旬公開~getreal~自由こそ青春!  
 特別鑑賞券 ¥1,500 (税込) 絶賛発売中 ★当日一般 ¥1,800 (税込) の処

劇場窓口でお買い求めの方には 特製ポストカード (限定) プレゼント

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト3F  
**シネリーブル梅田**  
 CINE LIBRE UMEDA  
 06 (6440) 5930

★各回定員入替制